

編集後記

国語 日本文ノ書キ方ニ就テハ多クノ問題ガアルガ 私ハ専門外デアルカラ ハツキリシタ理論ヲ持ツテイルワケデハナイ 然シ 日常 読ンダリ書イタリスル事ガ多イノデ 自分ナリニ考エタリ 多少ノ意見モ生ジテクル、漢字ノ数ヲ減ラソウトノ考エハ必ズシモ悪クナイト思フ 然シソレモ程度問題デアル、又 難シイ漢字ヲ略字ニスル事モ良イ、唯 無暗ニ仮名書キニシタリ或ハ表音化シヨウトスルノニ対シテハ異議ガアル、日本文ハ本来 漢字ト仮名デ出来テオリ ソノ中デ漢字ハ大キナ比重ヲ持ツテイル、漢字ソノモノノ中ニ意味ガ含マレテイル、コレヲ仮名書キニスルト意味ガ不明ニナルモノガ甚ダ多イ、又 仮名或ハ表音ハ同ジデアルガ 意味ノ異ナル言葉ガ多クアル、例エバ セイシ ト発音スル熟語ハ 製紙 精子等30以上モアル、コノヨウナ場合ニハ 表音ニヨツテ意味ヲ判ラセルタメニハ コレヲ熟語ヲ変エネバナラス 即チ表音化スル前ニ日本語ソノモノヲ変エネバナラス 或表音主義者ノ文章ヲ読ムト サスガニ 仮名ガ多イ、例エバ ダンダン(段々) オモウ(思フ) アユミ(歩ミ) ノコル(残ル) ヤシノウ(糞ウ) アラワス(表ワス) ハナシ(話) ワタクシ(私) ツカウ(使フ) ムカシ(昔) 等、コレモ一概ニ悪イト云ウノデハナイガ コノ程度ノ漢字ハアマリ難シイモノデモナイ 又 コノ人ガ コレヲ漢字ヲ使フナイカト云エバ 思想 残念 養生 表現 話題 私立 使用等ノ字ハ使ツテイル、オモウ ト仮名デ書キナガラ 一方デハ思想ト書イテイルノデアル、又 国語審議会 機会 辞任 過去 電子工学 処理 喜劇 情報 等ト云ウ漢字ハ使ツテイル、コレヲ仮名デ書ケバ意味ハ殆ド判ラヌデアロウ ソコデ先ズ コレヲ日本語ヲ別ノ言葉デ云イ表ワスヨウニスルノガ前提条件デアロウ、将来ハ タイプ デ書キ 外国人ニモ読メルヨウニスルノガ遠大ノ理想デアルカモ知レヌガ ソレニハ限界ガアロウ 思想ヲ シソウ ト書ケバ ソレヲ読ンデモ何ノ意味カ判ラヌデアロウ、思想ト書イテコソ ソノ意味ガ判ル、或ハ思想ト云ウ熟語ヲ廃メテ他ノ言葉ヲ作ルカデアル、一石二鳥トカ背水ノ陣ト書ケバ意味ハ判ル、コレヲ仮名デ書クワケニハユカス 仮名書キニナレバ コレヲ言葉ハ廃止サレル事ニナルノデアル、

(昭和38年11月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読 料金 1,200 円を前納する。1冊料金 120 円。払込みは振替口座番号 京都4772番、泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法等を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用い、附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. J. Urol., 45 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します 抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。